TTC 提案山行実施記録表

2010 年 10 月 6 日　報告者：佐藤末治

山行名	**那須茶臼岳・朝日岳・三本槍岳**　[1915m・1896m・1917m　栃木県]
実施日	2010 年 10 月 2 日（土）～3 日（日）　1 泊 2 日　ﾚﾝﾀｶｰ（ﾊｲｴｰｽ）利用
天候／参加人員	天候：晴れ　レベル：★★　参加人員：9 名（男 6 人／女 3 人）
ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	CL/計画：SL：　会計：　救護：　写真：　氏　名　削　除
参加メンバー （☆は班長）	（A）　☆ （B）　☆　氏　名　削　除
費用 **￥23,000－** （TTC ｶﾝﾊﾟ金￥1,490）	内訳：ﾊｲｴｰｽﾚﾝﾀﾙ料（@25,000×2）￥50,000、　ﾄﾞﾗｲﾊﾞ謝礼（@18,000×2＋2,000）￥38,000、燃料代[@115×(520＋50)／5]￥13,110、　高速代[(1450+700+4650)×2]￥13,600、ﾄﾞﾗｲﾊﾞ宿泊費￥8,000、交通費合計￥122,710- 三斗小屋温泉宿泊費（@8500×9）￥76,500、北温泉入浴代（@700×9）￥6,300 **支出合計￥205,510-　集金(@23000×9)￥207,000-**　残金￥1,490 を TTC にｶﾝﾊﾟ

歩行・行動時間

	歩行時間		休憩時間		行動時間	
	10/2	10/3	10/2	10/3	10/2	10/3
ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ	2:45	5:35				
計画	3:05	6:35	0:35	1:30	3:40	8:05
実行	3:00	5:21	0:28	1:33	3:28	6:54

・計画の大丸～峠の茶屋間 40 分を除外します。
・茶臼岳の下りはお鉢を巡りました。
・北温泉駐車場までの 16 分を除外します。

実行コースタイム記録

◆ １０／２　東名　首都高　東北道　車内にて昼食　50

本厚木＝＝厚木 IC＝＝大橋 JCT＝＝浦和料金所＝＝蓮田 SA＝＝那須 IC＝＝大丸＝＝峠の茶屋———峰の茶屋跡
6:15　9:10　9:23～35　11:05　11:35　11:46～55　12:45～55
32　35　63
———茶臼岳———峰の茶屋跡———三斗小屋温泉（煙草屋）泊
13:27～35　14:10～20　15:23

◆１０／３　57　27　15　46　28　24　昼食

三斗小屋温泉——隠居倉———熊見曽根分岐———朝日岳———北温泉分岐———三本槍岳———北温泉分岐
5:50　6:47 7:00　7:27～30　7:45 8:00　8:46～52　9:20～45　10:09～40
68　56　入浴　16　東北道
——スキー場分岐———北温泉———北温泉駐車場＝＝＝那須 IC＝＝＝佐野 SA＝＝＝大橋 JCT＝＝本厚木
11:48　12:44 13:50　14:06　14:35　15:40～55　17:19　18:10

コースの概要、特記事項、反省事項等

◆　１０／２

想定外の首都高事故渋滞により浦和料金所地点で予定より 1:20 遅れとなる。しかし那須温泉付近はｽﾑｰｽﾞに走れ、大丸をそのまま車で通過、峠の茶屋には計画より 45 分も早く着くことが出来た。

風もほとんど無く、峰の茶屋跡の峠に向かうゆるやかな登りも汗がにじむ。強風で有名なこの峠も、さわやかな秋風で心地よい。ここにｻﾞｯｸをﾃﾞﾎﾟして、茶臼岳に向かう。山頂は登山客と観光客が入り乱れ、相変わらず賑やかである。山頂の眺望は最高で、はるか遠くの雲海の上には、日光の山々や吾妻連峰の山々が頭を出している。下りはせっかくなのでお鉢を巡って峠に向かう。

三斗小屋温泉までは、ｶﾞﾚ場を通り、那須岳避難小屋までは急な下り坂。その先はなだらかな樹林帯である。途中の「延命水」はこれを飲むと 5 年長生き出来るらしい。水量が多く、とても湧き水とは思えない。お腹の弱い CL は残念ながらﾊﾟｽさせてもらった。三斗小屋温泉には、予定より 1:20 も早く到着。

宿のおかみは、忙しさのせいか、少々対応が冷たい。しかし割当てられた部屋は 6 畳間が 3 部屋。ぎゅうぎゅう詰めの相部屋を想定していただけに、ありがたかった。露天風呂は PM3 時から 5 時までは女性専用、男性陣はとりあえず内風呂に入る。風呂上りは夕食の時間までいつもの宴会。夕食の後、暗くなった階段を登り、待望の露天風呂につかる。夜空の星を眺めながらの至福のひと時である。

Et さんは夜中の 3 時に 2 度目の露天風呂で星空を見上げたそうな。小熊座やｶｼｵﾍﾟｱは分かったが、ｵﾘｵﾝが分からなかったとは！　こんど新人の It さんに星空の講習をしてもらおう。

◆１０／３

目が覚めると天気予報に反し、雲一つない晴天である。宿の朝食は 6:30 であるため、前もって用意してもらったおにぎりを 5:00 に食べる。

5:50 ｽﾀｰﾄ。温泉神社の脇を通って急登すると、登山道の脇に何箇所か温泉の源泉地がある。噴煙のすぐ脇を通るため、ｶﾞｽの匂いがきつい。息をとめてすばやく通過する。全体に良く手入れされた登山道である。最後の急登で隠居倉にとび出す。ここから見る三本槍方向の山すそは、みごとな紅葉である。

朝日岳の肩にｻﾞｯｸをﾃﾞﾎﾟして、朝日岳に向かう。朝日岳は那須連山の中央に位置し、まさに那須の展望台といったところ。眺望は抜群である。三本槍岳は名前から受ける印象とは異なり、ゆったりとした山である。北温泉分岐から山頂までは、良く手入れされた登山道で、栃木県の力の入れようには感服する。

山頂に着き、Mm さんの「日本百名山完登」を全員で祝福する。さっそく横断幕を持って記念撮影。この秋晴のお陰で感激もひとしおであろうと思われる。（ひかえめな Mm さんは遠慮がちにﾊﾞﾝｻﾞｲのﾎﾟｰｽﾞ）

中の大倉尾根を 2 時間ひたすら下って、北温泉に着く。北温泉は 150 年前の建築部も残る歴史を感じさせる建物である。男性陣はさっそく「天狗の湯」で汗を流し、待望のﾋﾞｰﾙにありつく。

帰路は渋滞もなく順調にとばし、18:10 厚木に帰着する。